

# 迎春



## 2018 成年 力強く前進

<撮影日2011.6.4奥羽本線 鶴ヶ坂～大釈迦間 SL津軽路号 試運転>



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行者 沢田 光広  
編集者 横内 俊博  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2018.1.10  
第1513号

### 新年 特集号

#### 年頭のあいさつ

### 改憲発議させない闘いに全力を 組織拡大と職場課題解決の結合

地方本部執行委員長

沢田 光広



明けましておめでとう  
ございます。

第73回定期地方大会で、  
新しく執行委員長に就任  
しました沢田です。地方  
本部執行委員会を代表し  
て、組合員と家族の皆さ  
んに新年のご挨拶を申し  
上げます。

東日本大震災から間も  
なく7年をむかえようと  
していますが、昨年も水  
害や地震の発生など、自  
然災害の怖さをあらため  
て感じさせられた1年と  
なりました。一方、20  
15年12月11日に発生し  
た、線路への土砂流入に  
よる脱線事故で運休とな  
っていた山田線土米内・  
川内間が昨年11月5日に  
運転を再開し、内陸と沿  
岸を結ぶ鉄路が復旧した  
ことにより、三陸復興へ

大きな弾みとなることを  
期待したいと思います。

昨年10月22日に投票  
された、第48回衆議院議  
員総選挙において、改憲  
勢力を何としても3分の  
2割れに追い込むことを  
意思統一し準備を進めま  
した。しかし、公示前の  
野党の混乱により、結果  
として与党単独で改憲発  
議が可能なら313議席の  
獲得を許し、衆議院の8  
割が改憲派の議員という  
国会情勢となりました。

改憲にむけた動きが加  
速・具体化していくこと  
は必至ですが、「安倍9  
条改憲NO!憲法を生か  
す全国統一署名」30  
0万人署名を成功させ、  
改憲発議させない取り  
組みを強化するために、  
国労としても署名の成功  
にむけ、最大限の取り組  
みをしていくこととしま  
す。

社会的運動の強化とあ  
わせ、国労が抱える課題  
を解決していく運動も強  
化していかなければなり  
ません。業務委託や外注  
化が拡大する中、安全に  
対する責任と意識を忘れ  
ることなく、JR会社と  
の交渉を積み上げていか  
なければなりません。技  
術継承や人材育成、要員  
問題は安全・安定輸送の  
確立と一体の課題である  
ことを粘り強く訴え、改  
善にむけた運動をつくっ  
ていくこととします。

組織の強化・拡大は国  
労として喫緊の最重要課  
題であり、集中した運動  
が求められています。国  
鉄採用組合員の残された  
時間には限りが見えてき  
ていきます。しかし、多く  
の仲間が国労へ復帰・加  
入し、平成採用の組合員  
も増加してきているのも  
事実です。国労運動に魅  
れを感じ、国労運動を継  
承するために様々な取り  
組みをしている平成採用  
組合員の思いにしっかりと  
向き合い、応えていか  
なければなりません。組  
織拡大へ全組合員の奮起  
と大胆な国労加入の呼び  
かけを訴えます。

結びに、本年が組合員  
と家族の皆様にとって健  
康で、実り多い年となり  
ますことをご祈念申し上  
げ、年頭に当たってのご  
挨拶と致します。

#### \*\*\*\*\* <本年もよろしくお祈りします> \*\*\*\*\*



地方本部役員

執行委員長 沢田 光広 (北上施設分会)

執行副委員長 小林 良宏 (盛岡施設分会)

執行副委員長 阿部 一久 (八戸運輸分会)

書記長 菊池 要悦 (盛岡駅連合分会)

執行委員 横内 俊博 (盛岡電気分会)

執行委員 及川 孝 (盛岡施設分会)

特別執行委員 田崎 秋弘 (青森運輸区分会)

特別執行委員 佐々木 智子 (盛岡駅連合分会)

特別執行委員 齋藤 庄司 (国労会館盛岡地方部)

特別執行委員 佐々木 力 (国労会館盛岡地方部)

会計監査員 小笠原 勝豊 (花輪線地域分会)

会計監査員 鈴木 清正 (北上駅連合分会)

会計監査員 淡路 明則 (青森施設分会)

地方本部書記・職員

遠藤 正  
西館 忍  
大宮 千恵子

